

平成30年度富士見市一般会計予算（概要）

～人にあたたかい、魅力と元気あふれるまちを目指した予算を編成～

1 予算概要

(1) 予算編成概要

平成30年度予算は、第5次基本構想後期基本計画に基づき、切れ目のない子育て支援や貧困対策、健康長寿に向けた取組みなど各種福祉施策の充実をはじめ、浸水対策や空き家対策などすべての市民が安心安全に暮らしていける施策のほか、次期総合計画につなげるため、本市の潜在力を活かした都市基盤整備、地域活性化、シティセールスに係る予算を計上するなど、人にあたたかい、魅力と元気あふれるまちを目指した予算を編成した。

(2) 予算規模

一般会計の当初予算総額は、歳入歳出それぞれ**324億2,839万円**となり、前年度に比べ、16億77万9千円の減、率にして4.7%の減となった。

本市において、前年度当初予算額を下回ったのは6年ぶりのことであるが、国の補正予算に対応した学校施設整備の前倒し実施や各種特別会計への繰出金の減などが主な要因となっている。

2 歳入予算の主な特徴

(1) 市税

市税の総額は、151億4,442万8千円となり、前年度に比べ312万1千円の微増ながら6年連続して前年度予算を上回る過去最大の税収規模となった。これは、法人市民税や市たばこ税等が減収する一方、個人市民税や固定資産税等が増収となる見込みによるものである。

個人市民税は、給与所得者における納税義務者数の増加などにより、前年度比5,097万3千円の増を見込んだ。

法人市民税は、前年度の決算見込みを踏まえ、前年度比4,973万9千円の減を見込んだ。

固定資産税は、評価替えに伴い、土地が6,637万3千円の増、家屋が3,125万9千円の減となり、前年度比2,829万4千円の増を見込んだ。

市たばこ税は、売り渡し本数の減を考慮し、前年度比3,417万6千円の減を見込んだ。

(2) 地方消費税交付金

地方消費税交付金は、都道府県における清算基準の見直しを踏まえ、16億1千万円と見込み、前年度比2億6千万円の増、率にして19.3%の増となった。このうち社会保障財源化分は7億6千万円である。

〔資料〕別紙「平成30年度予算に係る地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障施策に要する経費について」

(3) 地方交付税

地方交付税の総額は、28億5千万円と見込み、前年度比2億5千万円の減、率にして8.1%の減となった。

普通交付税は、地方財政計画や基準財政需要額の動向等を踏まえて26億5千万円と見込み、前年度比2億5千万円の減、特別交付税は、これまでの交付状況を考慮し、前年度同額の2億円と見込んだ。

〔参考〕平成29年度普通交付税額：27億9,453万2千円

(4) 繰入金

繰入金は、4億2,663万1千円となり、前年度比9億1,757万円の減、率にして68.3%の減となっている。

財政調整基金繰入金は、3億9,483万7千円となり、前年度比4億3,212万9千円の減となった。

〔参考〕財政調整基金残高見込み 平成29年度末：26億5,248万9千円

平成30年度末：25億1,047万2千円

(5) 市債

市債は、24億6千万円となり、前年度比7億3,300万円の減、率にして23.0%の減となっている。

小・中学校に係る学校施設整備事業債は、7,530万円となり、国の平成29年度補正予算に対応し、事業を前倒したことにより前年度比で8億1,060万円の減となった。

臨時財政対策債は、地方財政計画を踏まえて12億5千万円と見込み、前年度比5千万円の減とした。

〔参考〕一般会計市債残高見込み 平成29年度末：213億8,979万9千円

平成30年度末：226億2,813万7千円

※平成30年度末見込みには、平成29年度繰越明許費に係る市債を含む。

3 歳出予算の主な特徴

〔資料〕別紙「平成30年度当初予算の主要事業」

(1) 第5次基本構想後期基本計画の推進

①子育て支援施策の更なる推進

ア 子ども未来応援センターの拡充

- ・施設などに同行支援を行う子ども未来支援員を配置する。 7万5千円
- ・子ども未来応援ネットワーク会議の開催 1万2千円
- ・子ども未来応援市民運動設立記念フォーラムの開催 9万円
- ・離婚に伴う養育費等に関する相談事業を実施する。 24万円

イ ひとり親世帯に対する子育て支援の充実

- ・ひとり親家庭子育て支援助成金の創設
 - (ア) 病児・病後児保育利用料の助成 136万8千円
 - (イ) 富士見市ファミリー・サポート・センター利用料の助成 216万円
 - (ウ) 緊急サポートセンター埼玉の利用料の助成 3万円
- ・放課後児童クラブ保護者負担金の軽減 279万8千円（歳入の減額）

ウ 子ども未来応援基金の設立支援 100万円

- ・社会福祉協議会による子ども未来応援基金創設準備に対して補助を行う。

エ 民間保育施設の整備補助 3億4,132万1千円

- ・平成31年4月開設予定の民間保育所（鶴馬2丁目地内）の施設整備費に対して補助を行う。

②子どもの教育の充実

ア 情報教育の推進 6,148万5千円

- ・教育用パソコンをデスクトップ型からタブレット型に更新（8小学校・全中学校）し、無線LAN環境を整備するほか、デジタル教科書を導入する。

イ いのちの大切さをはぐくむ授業の実施 36万円

- ・教育大綱の理念を踏まえ、小・中・特別支援学校において、「いのち」の尊さ・大切さを実感する授業を実施する。

ウ 若手教員育成指導員の配置 661万1千円

- ・小学校の若手教職員の授業力を向上するための指導員を配置する。

エ 放課後等における学習支援の実施 1,191万9千円
・「小学生サタデースクール☆ふじみ」・「中学生イブニングスクール☆ふじみ」を開催する。

オ 生活困窮家庭の子どもへの学習支援の実施 1,308万円
・生活困窮家庭の中学生を対象とした学習支援教室を2か所で実施する。

③健康長寿施策の推進

ア ふじみパワーアップ体操の普及拡大（介護保険特別会計） 108万5千円
・ふじみパワーアップ体操のリーダー養成やクラブの創設を支援するほか、市民総合体育館のスタジオにおいて定期的に体操体験会を開催する。

イ 健康マイレージ事業における市独自ポイントの還元 216万4千円
・健康マイレージ事業の参加者に市独自のポイントを付与し、獲得したポイント数等に応じた賞品を進呈する。

ウ 特定保健指導の充実（国民健康保険特別会計） 37万7千円
・市民総合体育館のジム・スタジオ利用券を配布する。

エ がん検診の拡充 1,613万円
・内視鏡による胃がんの個別検診を導入するほか、乳がんの個別検診に対して助成する。

④高齢者福祉・施設の充実

ア 介護保険特別会計への繰出金 9億5,276万9千円
・要介護認定者数の増や介護施設の増加などに伴う介護保険給付費の増加により、一般会計繰出金は前年度比7,018万7千円の増となった。
・介護保険特別会計の新たな取組み
（ア）生活支援コーディネーターの増員 1,029万6千円
（イ）徘徊高齢者見守りステッカーの配布 43万2千円
（ウ）地域医療・介護相談室の運営費委託 322万円

イ 介護職員人材確保の推進 212万8千円
・介護職員初任者研修を実施するほか、市内介護事業者による就職説明会を開催する。

ウ 老人福祉センターの改修 1億859万1千円
・老人福祉センターの空調設備等を更新する。

⑤障がい者福祉の充実

ア 障がい者基幹相談支援センターの運営 2,443万円

- ・平成29年10月に鶴瀬駅東口地区に開所した障がい者基幹相談支援センターを通年で運営する。

イ あいサポート運動の推進

- ・社会福祉協議会へ委託し、あいサポーター養成講座などを開催する。 175万5千円
- ・障がい者週間に合わせて講演などのイベントを開催する。 8万8千円

⑥生涯学習施設の充実

ア 中央図書館リニューアル開館記念イベント等の開催 33万5千円

- ・記念式典及び寄贈絵画の除幕式のほか、講演などの記念イベントを開催する。

イ 鶴瀬コミュニティセンターの改修 1億7,064万8千円

- ・ホールの舞台照明・音響設備等を改修する。

ウ 公民館の冷水機設置 115万3千円

- ・熱中症予防対策等として4公民館に冷水機を設置する。

⑦文化芸術の創造

ア 舞台芸術鑑賞会の開催 150万円

- ・市民文化会館キラリ☆ふじみにて舞台芸術鑑賞会を開催し、市内中学生を無料招待する。

予定演目：和太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能

イ 地域コンサートの開催 10万円

- ・鶴瀬駅構内等で音楽大学等によるコンサートを開催する。

⑧スポーツ・レクリエーションの推進

ア スポーツ大会の誘致 38万円

- ・第52回全国ろうあ者体育大会のフットサル競技を誘致し、アトラクションとしてキッズダンスなどによる応援のほか、優勝チームに記念品を贈呈する。

イ スポーツ（レスリング）の普及推進 29万2千円

- ・市民総合体育館で開催される全国社会人オープンレスリング選手権大会に合わせ、レスリング体験イベントを開催する。

- ウ 新春縄文マラソンの開催支援 20 万円
 - ・ IC チップ自動計測システムや大会パンフレット作成などの経費に対して補助を行う。
- エ 子どもスポーツ大学☆ふじみの開催 41 万 2 千円
 - ・ 子どもスポーツ大学☆ふじみの定員を 30 人から 40 人に拡大して開催する。

⑨産業の振興

- ア 地域経済の活性化に向けた取組み
 - ・ 産業振興基金を活用した新たな補助制度の創設
 - (ア) 6 次産業化など新たな取組みにチャレンジする認定農業者等に対して農業用資機材の購入費用の補助を行う。 400 万円
 - (イ) 市内の事業者に対して下記のチャレンジ支援事業の補助を行う。
 - [1] 店舗改装費用 60 万円
 - [2] 資格取得のための講習会参加費用 40 万円
 - [3] 特許出願や審査請求費用 20 万円
 - [4] ホームページ作成費用 50 万円
 - (ウ) 新規創業資金を借り入れた市内の事業者に対して 5 年間の利子補給を行う。 15 万円
 - (エ) 市内産業の現状を把握するため、農業・商業・工業分野ごとに懇談会を開催する。 5 万 4 千円
 - ・ 「梅恋花」の PR を推進するほか、製造・販売する酒販組合に対して補助を行う。 69 万 8 千円
- イ 産業活性化アドバイザーによる支援の拡充 60 万円
 - ・ 市内中小事業者の経営改善や商店会等の課題解決を支援するため、産業活性化アドバイザーを派遣する。
- ウ 商業実態調査の実施 212 万 3 千円
 - ・ ららぽーと富士見開業後の環境の変化を含めた商店街等の実態を調査する。

⑩公園整備及び緑地保全の推進

- ア 安全安心な公園づくりの推進
 - ・ 公園遊具の保守点検や外周フェンスの老朽化状況を確認する。 70 万 2 千円
 - ・ 公園灯の老朽化状況の点検や水銀使用の有無を確認する。 228 万 3 千円
 - ・ 唐沢公園のフェンスを改修する。 756 万円
 - ・ 難波田城公園に防犯カメラを設置する。 194 万 4 千円
- イ 緑地の保全 1 億円
 - ・ 緑地保全基金の積立てを増額する。

⑪省エネ・再生可能エネルギーの普及

- ア 太陽光発電システム設置奨励金の支給対象の拡充 700 万円
 - ・太陽光発電システムと蓄電池を同時に設置した場合に 5 万円を加算する。

- イ 公共施設等のLED化推進
 - ・防犯灯 1,750 基をLEDに更新する。 5,283 万 9 千円
 - ・市役所本庁の会議室等の照明 210 本をLEDに更新する。 116 万 6 千円
 - ・市内各公共施設におけるLEDの更新
(ふじみ野交流センター・針ヶ谷コミュニティセンター・老人福祉センターなど)

⑫都市基盤整備の推進

- ア シティゾーンの整備
 - ・地権者の意向確認調査などを実施する。 563 万円
 - ・道路整備に係る調査等を実施する。 2,378 万 7 千円

- イ 都市計画道路の整備
 - ・みずほ台駅東通線の整備
 - (ア)道路詳細設計及び費用便益分析調査の実施 1,521 万 7 千円
 - (イ)小規模土地区画整理事業の設立に対して補助を行う。 700 万円
 - ・水子鶴馬通線の整備
 - (ア)道路用地を取得するため、公共用地先行取得事業特別会計へ繰出金を支出する。
1,600 万円

- ウ 鶴瀬駅東西口土地区画整理事業の推進
 - ・土地区画整理事業の推進及び早期完了を目指し、特別会計へ繰出金を支出する。
 - (ア)鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計への繰出金 2 億 7,607 万 7 千円
 - (イ)鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計への繰出金 3 億 7,342 万 1 千円

⑬道路整備の推進

- ア 幹線道路の整備
 - ・市道第 5101 号線 (大字勝瀬地内) の整備 2 億 4,770 万円
 - ・市道第 5131 号線 (富士見橋通線・水谷柳瀬川ゾーン) の整備 1 億 7,158 万円
 - ・市道第 5203 号線 (114 号踏切拡幅) の整備 1 億円

- イ 生活道路の整備
 - ・市道第 1028 号線 (鶴馬 2 丁目地内) の整備 750 万円
 - ・市道第 1105 号線 (大字水子地内) の整備 2,400 万円

ウ 道路修繕の実施 1億940万円

- ・市道第5208号線（大字下南畑地内）及び市道第2934号線（大字水子地内）など、市内各所の傷んだ道路の修繕を行う。

⑭市民参加・協働の推進

ア 地域まちづくり協議会への支援 260万円

- ・地域まちづくり協議会の組織化を推進するとともに、地域まちづくり協議会が行う事業に対して補助を行う。

イ 協働事業提案制度による事業の実施 78万9千円

- ・市民提案型協働事業として採択された4事業に対して補助を行う。

(ア) 野良猫の不妊手術事業

(イ) 座敷ぼうき製作技能伝承者の育成事業

(ウ) たんぼラグビー&出張タグラグビー体験会

(エ) ペット動物災害対策事業

⑮町会活動の支援の充実

ア 町会の拠点施設の環境改善

- ・水谷東3丁目集会所の解体及び建設工事を行う。 8,743万3千円
- ・鶴馬1丁目集会所などの備品を購入する。 357万8千円

イ コミュニティ活動の支援 500万円

- ・町会のコミュニティ活動に必要な備品購入に対して補助を行う。

(2)市民生活の安心安全を高める施策の推進

市民が安心して安全な生活を送れるよう総合的な防犯対策及び防災・減災対策を推進する。

①防犯対策の充実

ア 防犯カメラの設置推進

- ・人通りや街頭犯罪の多い駅周辺に街頭防犯カメラを設置する。 432万円
- ・商店会等が設置する街頭防犯カメラの設置費用に対して補助を行う。 200万円

イ 空家対策の推進

- ・空家等対策計画を策定するほか、空家等対策ハンドブックを作成する。 79万2千円
- ・空家等の安全対策を実施する。 17万8千円

②防災対策の充実

ア 災害情報等の伝達手段の充実

- ・緊急情報を瞬時に伝達する全国瞬時警報システム（Jアラート）を更新する。
501万7千円
- ・防災行政無線自動応答サービスの回線を増設する。 19万1千円

イ 減災器具の設置支援 49万8千円

- ・高齢者世帯等を対象に、家具の転倒防止器具や感震ブレーカーを取り付ける作業員を無料で派遣する。

ウ 富士見防災リーダーの養成 32万2千円

- ・自主防災会員を対象に、防災リーダー養成講座を開催する。

エ 避難所備蓄食料の拡充 90万5千円

- ・地域防災計画に基づき、避難所の備蓄食料を拡充する。

オ 東消防署富士見分署の移転 42万円

- ・富士見分署建設予定地の不動産鑑定を行う。

③交通安全の推進

ア 自転車ヘルメット着用の推進

- ・中学生以下及び高齢者を対象に、自転車ヘルメット購入費用の補助を行う。
81万6千円
- ・中学1年生に対して通学時などに着用する自転車ヘルメットを配布する。 285万円
※自己負担あり

イ 通学路における安全確保の推進 1,400万円

- ・小学校指定通学路にグリーンベルト等を設置する。

④浸水対策の推進

ア 砂川堀の浸水対策 3,423万6千円

- ・砂川堀第2樋管ゲートを電動自動開閉式のゲートに改修する。

イ 凶川の浸水対策 220万円

- ・凶川の臨時仮設ポンプを1台から5台に増設する。

ウ 唐沢堀の浸水対策

- ・西みずほ台1丁目地内の側溝や管渠などを貯留浸透型に変更する設計を実施する。
300万円
- ・西中学校の雨水貯留施設の設計を実施する。 100万円

- エ 諏訪地区の浸水対策 670 万円
 - ・水路断面不足を解消するための改修工事を実施する。
- オ 南畑大排水路の浸水対策 1,800 万円
 - ・南畑大排水路（大字下南畑地区）の護岸改修工事を実施する。
- カ 水谷東地区の浸水対策 800 万円
 - ・水谷東第1排水機場（水谷東3丁目地内）のポンプ交換工事を実施する。

⑤橋梁の長寿命化の推進

- ア 瓶沼橋の耐震補強工事の設計を実施する。 1,987 万 2 千円
- イ 市内 61 橋の橋梁点検を実施する。 1,700 万円

(3)次期総合計画につながる施策の推進

中・長期的な観点から本市の潜在力を活かした取組みを推進するほか、市の魅力的な情報を市内外に発信するシティセールスや地域活性化に取り組む。

①本市の潜在力を活かした取組み

- ア シティゾーンの整備（再掲）
 - ・地権者の意向確認調査などを実施する。 563 万円
 - ・道路整備に係る基本設計等を実施する。 2,378 万 7 千円
- イ 都市計画道路の整備（再掲） 700 万円
 - ・小規模土地区画整理事業の設立に対して補助を行う。
- ウ 水谷柳瀬川ゾーンの整備（再掲） 1 億 7,158 万円
 - ・市道第 5131 号線（富士見橋通線）の整備
- エ 旧富士見青年の家跡地等の活用 900 万円
 - ・びん沼自然公園を含めた旧富士見青年の家跡地周辺の活用に向けた基本設計を実施する。

②シティセールスの推進

- ア 戦略会議アドバイザーを招へいし、シティセールスについて調査・研究する。
9 万円
- イ W i - F i 環境の整備 45 万 7 千円
 - ・利便性の向上及び観光アプリ「ココシル」の利用促進を図るため、市内公共施設 6 か所に無料の無線 LAN 環境を整備する。
- ウ 富士見市 P R 大使の委嘱 141 万 8 千円
 - ・委嘱期間満了に伴い、現 P R 大使の更新及び新 P R 大使の委嘱式を開催する。

- エ ふわっぴーの着ぐるみリニューアル 155万3千円
 - ・ふわっぴーの着ぐるみを修復するほか、新たに持ち運びにもコンパクトで便利なエア一着ぐるみを作成する。
- オ 市ホームページのリニューアル 2,807万4千円
 - ・ウェブアクセシビリティやマルチデバイスに対応するほか、市のPRサイトを開設するため、市ホームページを新たに作成する。

4 主な行財政改革の取組み

(1) 自主財源の確保

① 収納率の向上

- ア 納付の利便性及び収納率向上を図るため、スマートフォン等を活用した市税及び国民健康保険税の新たな納付方法を導入する。
 - ・クレジットカード納付に要する経費 58万9千円
 - ・インターネットバンキングによる納付に要する経費 5万2千円
- イ 徴収に関する専門的な知識・経験を有した徴収専門員を任期付で採用する。
- ウ 法人の電子納税を可能にするeLTAXを活用した共通電子納税システムを導入する。 905万1千円

② 広告収入の確保

- ア 庁舎案内板等広告掲載料 78万円
- イ 総合的窓口モニター広告掲載料 60万円
- ウ 市ホームページバナー広告掲載料 312万円

③ 自動販売機設置に係る市有財産の貸付

- ア 飲料水自動販売機設置貸付料 477万2千円

④ 特定目的基金の一括運用

- ア 運用額の拡大化・長期化に伴う定期預金の効果的な預入れ
- イ 運用額の長期化に伴う債券運用益の確保 (H29.12: 埼玉県債の購入) 62万5千円

(2) 電気料金の削減

- ア 防犯灯1,750基のLED化による電気料金の減
- イ 公共施設の照明のLED化による電気料金の減
- ウ 小売電気事業者(PPS)の継続導入による効果

5 平成30年度一般会計予算款別一覧

【歳入】

(単位 千円)

款 名 称	本年度予算額	前年度予算額	増減額・率(%)	
市 税	15,144,428	15,141,307	3,121	0.0
地 方 譲 与 税	197,000	189,000	8,000	4.2
利 子 割 交 付 金	25,000	9,000	16,000	177.8
配 当 割 交 付 金	67,000	67,000	0	0.0
株式等譲渡所得割交付金	61,000	53,000	8,000	15.1
地方消費税交付金	1,610,000	1,350,000	260,000	19.3
ゴルフ場利用税交付金	2,000	2,000	0	0.0
自動車取得税交付金	77,000	70,000	7,000	10.0
地方特例交付金	104,000	97,000	7,000	7.2
地 方 交 付 税	2,850,000	3,100,000	△250,000	△8.1
交通安全対策特別交付金	12,000	10,000	2,000	20.0
分担金及び負担金	586,973	561,877	25,096	4.5
使用料及び手数料	310,776	309,911	865	0.3
国 庫 支 出 金	5,854,829	5,912,147	△57,318	△1.0
県 支 出 金	2,053,935	1,973,258	80,677	4.1
財 産 収 入	20,713	20,289	424	2.1
寄 附 金	23,411	25,520	△2,109	△8.3
繰 入 金	426,631	1,344,201	△917,570	△68.3
繰 越 金	250,000	250,000	0	0.0
諸 収 入	291,694	350,659	△58,965	△16.8
市 債	2,460,000	3,193,000	△733,000	△23.0
合 計	32,428,390	34,029,169	△1,600,779	△4.7

【歳出】

(単位 千円)

款 名 称	本年度予算額	前年度予算額	増減額・率(%)	
議 会 費	251,696	249,328	2,368	0.9
総 務 費	3,813,894	3,703,867	110,027	3.0
民 生 費	16,608,327	16,394,981	213,346	1.3
衛 生 費	2,011,896	2,042,311	△30,415	△1.5
労 働 費	6,632	6,922	△290	△4.2
農 林 水 産 業 費	131,462	109,339	22,123	20.2
商 工 費	83,785	73,147	10,638	14.5
土 木 費	3,070,144	4,101,172	△1,031,028	△25.1
消 防 費	1,255,717	1,228,048	27,669	2.3
教 育 費	2,759,250	3,726,464	△967,214	△26.0
災 害 復 旧 費	1	1	0	0.0
公 債 費	2,385,586	2,343,589	41,997	1.8
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0
合 計	32,428,390	34,029,169	△1,600,779	△4.7